

ガバナンスの強化は

町長

積極的に情報公開していきたい



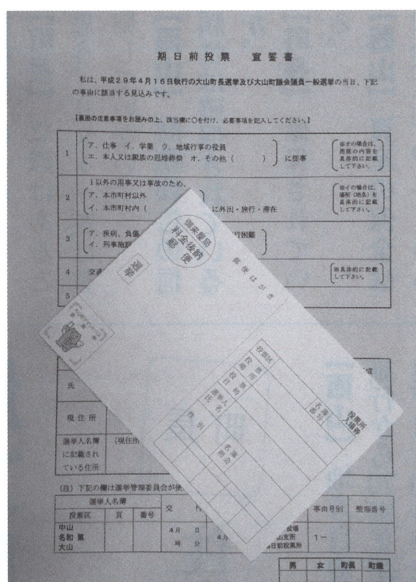
門脇 輝明 議員

【門脇】指示・命令はできる限り文書に残る形でしてほしい。
 【町長】そのようなしていきたい。
 【門脇】職員研修の実施状況は。
 【町長】県主催の実務研修を28年度64名、29年度73名が受講している。
 【門脇】検査専門員の業務内容と成果は。
 【町長】例月出納検査に出席するだけだ。
 全体としてチェック機能を強化していく必要がある。
 【門脇】ガバナンス強化の武器として情報公開を促進すべきだ。
 【町長】いつでも公開した情報が見える環境作りを積極的にした。
 【門脇】監査は結果を出すことが重要だ。
 【代表監査委員】他町の状況を鑑み、体制は十分だが、変えるところは変えて行きたい。

期日前投票の簡素化は

選挙管理委員長

早い時期に協議する



入場券と宣誓書を1枚に

【門脇】多くの市町村で投票入場券裏面に期日前投票の宣誓書を印刷している。
 本町での導入は。
 【選挙管理委員長】早い時期に協議する。
 【門脇】主権者教育を促進するため子ども議会を開催しては。
 【教育長】通常の学習時間内での実施は難しい。
 主権者教育は児童・生徒が取り組みやすい形を検討する。
 【町長】開かれた議会に向けた取り組みとしては非常に有効であると考えている。

安否や被害の確認は

町長

自治会などが行い町が支援する



大切な集落の防災訓練（福尾）

【門脇】今年度を実施した防災訓練の内容、成果及び課題は。
 【町長】12月2日に弾道ミサイルに対する住民避難訓練を中山温泉周辺で実施し無事終了した。
 【門脇】災害時の住民の安否と被害状況確認の体制は。
 【町長】まず自主防災組織や自治会が行い、支援が必要であれば、町、町消防団、消防署が出向くことになる。

内部起用から 方針転換した理由は



森本 貴之 議員

町長

前副町長が職場体制を整えた



期待される新副町長

【森本】副町長不在のなか、3ヶ月が経過した。大山開山1300年祭、山の日記念全国大会と大きなイベントが開催される平成30年が目前に迫っている。町民の関心も大きい。どのようないで人選に臨んでいるか。

【町長】人物本位で考えている。仕事ができることはもとより、人をまとめる能力も重要と考えている。

【森本】県から起用する方針を固めたという新聞報道があった。町長は就任当初、内部起

用に強い思いを持っていたが、方針転換した理由は。

【町長】施策を進めるにあたって、職員を束ねる力が必要だった。その職場体制を、野間前副町長が整えてくれた。内部起用でなくとも、十分な体制がくつて行けると考えている。

【森本】人事案の提案とあわせて、この先の町政への思いは。

【町長】その人の能力を最大限に発揮してもらい、本町の課題解決に取り組んでいく。

オペレーター不足の解消は

町長

来年度から育成事業に取り組む

【森本】除雪対策について近隣自治体は初動体制の迅速化などの見直しをはかっている。

本町で、過去の除雪経験から、対策の見直しや、強化をはかったものはなにか。

【町長】業者の協力を得ながら、借り上げ機を3台と、町有の歩道用除雪機1台を増やしている。

【森本】機械は増えているが、オペレーター不足が心配である。人材確保の現状は。

【町長】山間地の場合、24時間体制で除雪を行っている。その際に交代要員が必要である。そういった部分では人材不足かと思う。県の除雪運転手育成事業との連携に、手を



24時間体制の除雪作業

挙げています。来年度から事業に取り組み、人材を育成していく。

【森本】通学路や歩道の除雪をどう考えるか。

【町長】業者と連携し、体制を整えている。歩道のない通学路の除雪に毎年PTAから要望が出ています。そういった箇所の拡幅も行なっている。